

号外

ベートーヴェンVSゲリネク
ピアノ・バトル対決スコア
ベートーヴェン ゲリネク
(ボン) (セドリック)
★★★★★ 芸術性 ★★
★★★★ 技術力 ★★★★
★★★★★ アドリブ力 ★★
★★ 女子ウケ ★★★★
★ 減点要素 —
☆15.0 合計 ☆11.0

一世を風靡したあのゲリネクがついに王座から陥落！勝者ベートーヴェンの持ち味は、楽想・技術、全てを駆使したアドリブ力。パワー余って弦を破損というハプニングもあったが、そこも含めてパフォーマンスの想定内といふべき。シャタイベルトとの対決にも期待！(解説：サリエリ)

ピアノ・バトルのハイライトは「運よば」のTOP.4 新世纪ピアノ・バトルで！

王者の座を独占スクープ
（ピアノの弦を破損）

神父ゲリネク完敗!! ボンスボ



猛獣ピアニスト がイントロダクションをフリーエス

去る某日、ウィーン、リヒノフスキーハー侯爵邸にて、我らがボン出身の猛獣ピアニストことルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンが、ボヘミアの神父ヨーゼフ・ゲリネクとの即興演奏バトルに参戦。みごと満場一致で勝利を収めた。

ベートーヴェンは1770年、ボン小路生まれ。ピアノの実力と、「ギロチンチヨップ」と称される時事ネタ系のキレ芸が話題を呼び、いまや同地の貴族のサロンにひっぱりだこの大人気を誇る若手ミュージシャンである。

一方のゲリネクは、ベートーヴェンに完敗し、すっかり意氣消沈の様子。ゲリネクの家族ぐるみの友人であるシュヴァルツ氏(仮名)によると「あれほど自信家だった彼が、別人のようにしおげかえって『ベートーヴェンは悪魔だ』と言い出しますので、私も息子もビックリしてしまいました。そのおかげで、うちの息子もいまやすっかりベートーヴェンに興味津々で、最近じや弟子入りしました



敗者の様子を激白する
シュヴァルツ氏(仮名)

貴族ギライ？
ベートーヴェンは

さて、当の勝者ベートーヴェンだが、バトル後の記者会見ではなぜか終始ご機嫌ナナメ。「ピアノ・バトルなんか貴族の×××野郎の悪趣味だ。」といふ禁止用語まで飛び出し、会場の空気は一瞬凍りついたが、主催者のリヒノフスキーハー侯爵は慣れたもの。「その意気、そ

いなんて言ひ出す始末ですよ」とのこと。じゅうやうのバトルの結果は、ピアノを志す次世代の少年たちにもインパクトを与えていたようだ。第2、第3の天才が現れる日も近い！



ベートーヴェン、衝撃のギャグ4コマ漫画化!!
電子書籍版&公式サウンドトラックも同時リリース!!

まずは1曲
Amazon MP3で
無料ダウンロード!
Amazonのアカウント+
スマートフォンで今すぐDL!

電子書籍版&公式サウンドトラックも同時リリース!!

ズンドコマーチ
で検索

「ズンドコマーチ頂上決戦」

全50トラック
アルバム価格1,200円(税込)

mora
iTunes Store で配信

作:NAXOS JAPAN 画:IKE

発行所:株式会社 学研パブリッシング
発行元:株式会社 学研マーケティング

■A5判/口絵8頁+128頁/4C+1C

■本体価格1,000円(税別)

運命
と呼ばないで

音楽家とは、
何なのかな。

指揮者・佐渡裕氏、推薦。

※本紙は、史実をベースにした創作物です。

ベートーヴェンの
暴露本まで登場!?

そんな大ブレイク中ミュー
ジシャンの気になるプライ
ベート生活は、話題の新刊
『ベートーヴェン4コマ劇場

一運命と呼ばないで』に赤裸々に描かれているので要注意。また、音楽活動についても、同時にリリースの公式サウンドトラックにて全容を追うことできる。もはや我々はベートーヴェンなしには19世紀を迎えないかもしない!?

